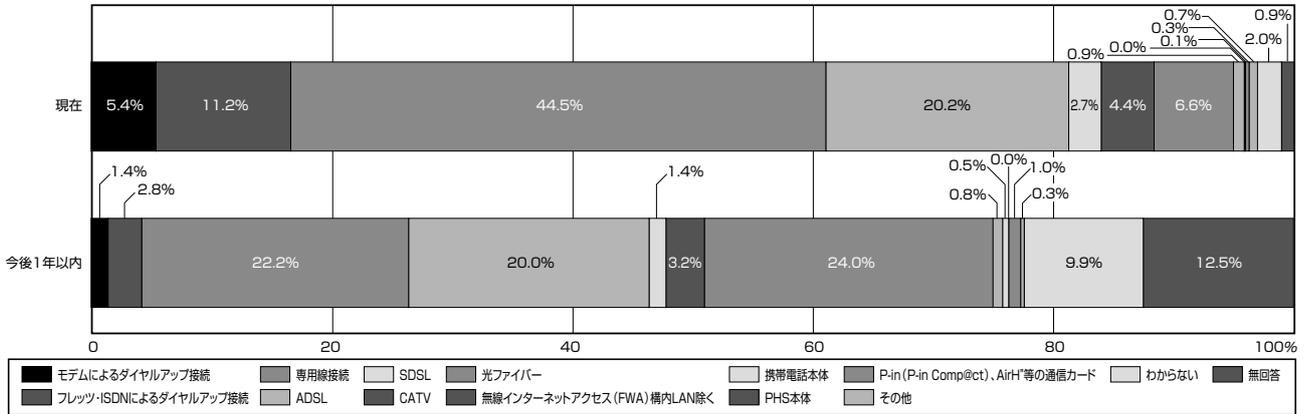
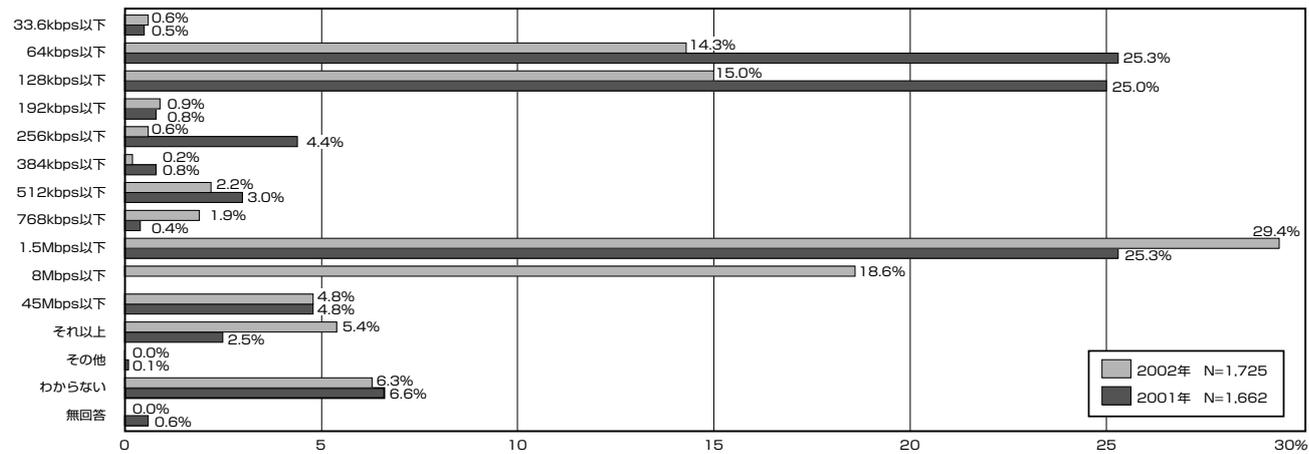


資料1-4-8 主な接続方法（現在/今後1年以内）N=1,725



© Access Media/impress,2002

資料1-4-9 プロバイダーとの最大通信速度



(注) 2001年は「8Mbps以下」は「45Mbps」に集約

© Access Media/impress,2002

解説

P-in comp@ct、P-in Master、AirH[®]（エッジ）などデータ通信カードを利用したデータ通信を指す。

ブロードバンドとは、専用線接続、ADSL、SDSL、光ファイバー（FTTH）、構内LANを除く無線インターネットアクセス（FWA）、CATVを指す。

特に今年は「ADSL」の伸びが最も顕著で、昨年の1.2%からみると約20倍にもなっている。

これを従業員規模別でみると、「ADSL」は50人未満の規模で接続率が高い。

また、今後1年以内の接続予定で最も

期待が高いのは「光ファイバー」で、現在の6.6%から一挙に24.0%まで伸びる予測となっている。

この1年でブロードバンドの接続料金が飛躍的に安くなったことで、今後小規模の企業においてもナローバンドからブロードバンドへの移行が進むことは確実である。

通信速度（資料1-4-9）では、今年ついに「1.5Mbps以下」以上が全体の58.2%と過半数を占めた。昨年まで通信速度の主流だった「64kbps」（2001年25.3%→2002年14.3%）、「128kbps」

（2001年25.0%→2002年15.0%）から主流はMbpsクラスに移行したとよいだろう。

（矢野さよみ アクセスマディアインターナショナル株式会社）



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp